

【Course Description】

- ① 社会問題などについての意見を述べる・意見を書くことを通じ、自分の意図する内容を日本語で適切に伝える口頭表現技術・文章表現技術の基礎を身につける。
- ② インタビュー調査活動を通じ、場面や相手に合った日本語表現を身につける。
また、上手な聞き手とは何かを考える。

【Class Goals】

- ① 大学だけでなく、実社会で必要とされる、情報を分析する力、論理的思考をする力、人を説得する表現力を、口頭発表、レポート作成を通じて養う。
- ② 上手な聞き手として、日本語でコミュニケーションできるようになることを目指す。
- ③ インタビューや書くことを通して、知的な問題発見を体験する。

【Course Schedule】

【第1回】オリエンテーション他

【第2回～7回】

- 読解(投書や新聞記事)と意見(投書など)を書く
- 情報分析の仕方を考える
- 説得力のある意見を書く

【第8回～15回】

- 現実のタスクを達成する(例「ラジオCMを作り応募する」)
- タスク達成のために必要な過程を考え、社会人としての能力及び日本語力を鍛える

【第16回～23回】

- 時事的なテーマについて様々な資料を集め、自分の意見をまとめ、
- ディスカッションする

【第24回～44回】

A. 意見スピーチ&論証型レポートを書く

- ① 意見レポートとは
- ② テーマを決める
- ③ 論点作成
- ④ 資料検索オリエンテーション
- ⑤ アウトライン作成
- ⑥ パワーポイント作成
- ⑦ 発表
- ⑧ レポート作成

B. 小説を読む

【第45回～56回】自分を考える体験&インタビュープロジェクト

- ① 資料の映像や本を読む
- ② 計画をたてる
- ③ 資料検索
- ④ インタビュー項目を作る
- ⑤ アポイントメントを取る
- ⑥ インタビューをする
- ⑦ 分析、考察を行う
- ⑧ 発表アウトラインを作る
- ⑨ 結果発表

【第57回】まとめ

但し【第14&15回】は、10月 14 日(土)に授業を行う

【第32～36回】は 11月 18 日(土)にフィールドトリップを行う

(* 適宜 語彙練習・新聞読解・敬語表現練習も行う)

★ 学生のレベルによっては、内容が変わることがある。

漢字学習は、各自のレベルにあったものを学期を通して自主学習を中心に行う。

【Preparation for Class】

学期を通し読む、書く練習を積み重ねていくが、授業前の準備が必要になる。また、実際に「書く」作業は個人作業なので、講義外の時間も使うことになる。必要な時間を十分とれるようにしておくこと。

【Review of Class】

自分の課題に関する教師からのフィードバックを確認し、変更・訂正などを行う。
発表について自己評価をする。

【Remarks for Class】

- ① 予習、復習でも述べたが、教室での活動以外に各自の課題のための準備が必要である。
- ② 授業内でも、各自が自律的に進めていく姿勢が求められる。出席しているだけでは、何も進まない。
- ③ グループワークでは、それぞれが責任を持って協力しあうこと。

【Texts】

特になし(適宜プリント配布)

【Reference Books】

井下千以子(2014)『思考を鍛えるレポート・論文作成法[第2版]』慶應義塾大学出版会
立花隆・立花隆東大ゼミ(2011)『二十歳の君へ—16のインタビューと立花隆の特別講義』文藝春秋

【Evaluation Criteria】

平常点(授業参加度・参加態度ほか)20%

課題・発表 80%

(授業の欠席が全体の1/3を超える場合単位は与えられない)